

スポーツアナリティクスとの掛け算で ワクワクを拓くらボ

1 ラボの課題

「スポーツ」を「する」「見る」「支える」に関する課題に対し、スポーツアナリティクスの思考と手法による解決にチャレンジ。

2 春学期の活動について

ファジャアノの試合分析&観戦

ファジャアノ岡山VS水戸ホーリーホックの試合を「みる」の部分から楽しむためそれぞれ3つの班に別れ、「どんなチームなのか」「得点シーン」などを調査・分析し、最後には推しの選手を紹介した。

ゼミ生の中でも、個人の特性を活かした視点

経営者の視点、選手の視点、ファンの視点など様々な視点から分析を行ない、ゼミの回数を重ねる度に分析の幅が広がっていった。

分析した情報をもとに、7/1に行われた

ファジャアノ岡山VS水戸ホーリーホックの試合を観戦し、分析したことによってさまざまな視点で観戦することができ、今までよりもさらに観戦を楽しむことができた。

フィギュアスケートについて知ろう！

久永ゼミ生でもあるフィギュアスケーターの三宅咲綺さん直々に、素人でもわかるフィギュアスケートという競技について3回にわたってプレゼンをしてもらった。フィギュアスケートの大会がテレビ中継されているのを見ることはよくあるが、「トリプルアクセル」がすごい！ジャンプが成功したら「綺麗！」と言った漠然とした見方を今までしていた。「ルッツ」や「サルコウ」などの違いをスローモーションで説明してもらい、つま先や体の入り方、左足か右足かなど細かい部分の違いだということを知り、難しい競技だと感じた。サッカーの分析だけでなく、プロの選手から直々にスケートについて詳しく教えていただき、人生であまり体験することのない貴重な機会にだったし、新たに観戦を楽しめる競技が増えた。

スポーツの分析楽しい！

3 今後の活動

春学期の応用として、スポーツアナリティクスの教育分野への横展開を検討中。

担当教員：久永啓

所属学生：7名

柴倉梨乃 長尾遥大 羽原秀聖 松田秀也 三宅咲綺 森太陽 吉行航平

